

第 9 4 回

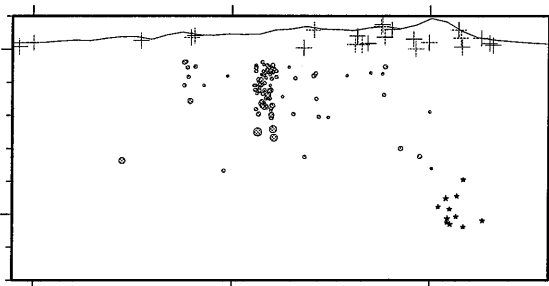
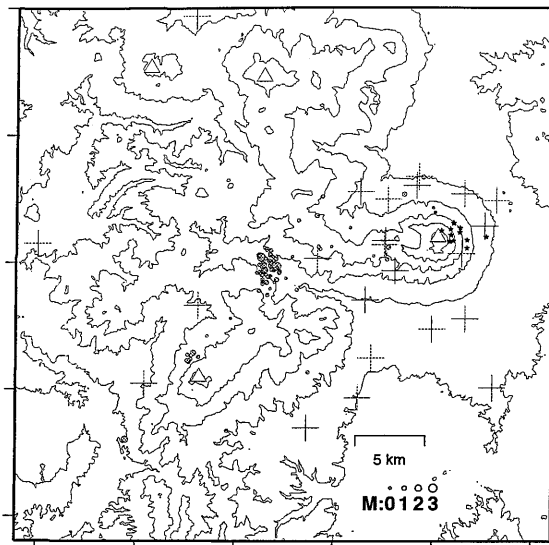
火山噴火予知連絡会資料

2 0 0 3 年 1 月 2 1 日

東北大学大学院理学研究科

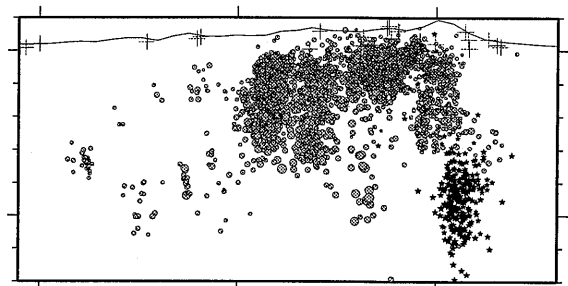
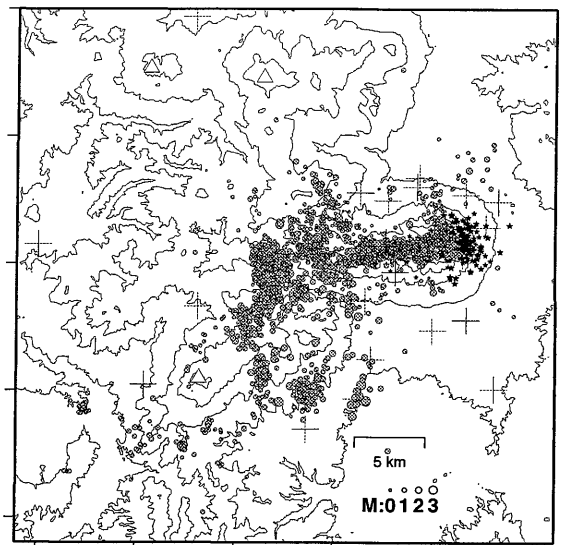
(a) 2002年10月～12月

HF: N=106 LF: N=11



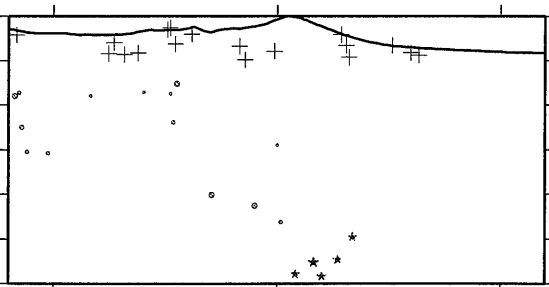
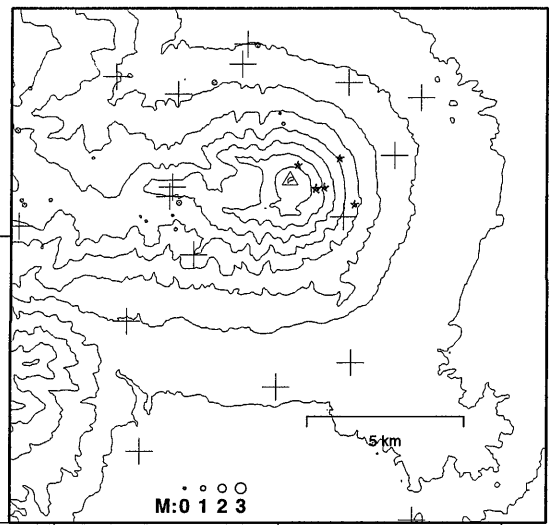
(b) 1998年1月～2002年9月

HF: N=3382 LF: N=338



(c) 2002年10月～12月

HF: N=14 LF: N=5



(d) 1998年1月～2002年9月

HF: N=1789 LF: N=271

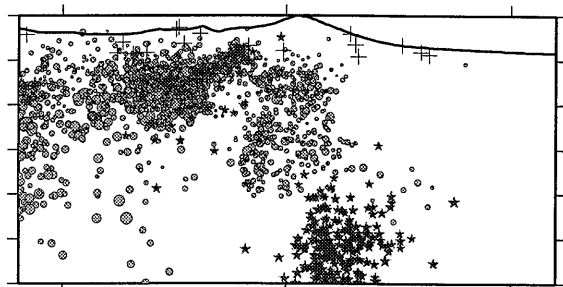
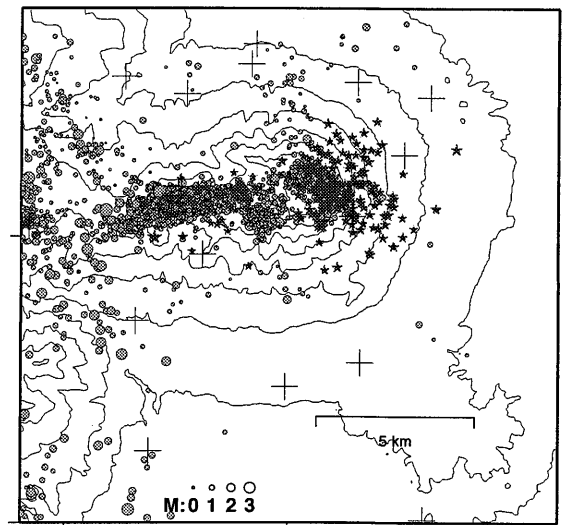


図1. (a)2002年10月～12月, (b) 1998年1月～2002年9月の岩手山とその周辺における震源分布. (c) 2002年10月～12月, (d) 1998年1月～2002年9月の岩手山近傍における震源分布. 丸印が高周波地震, 星印が低周波地震.

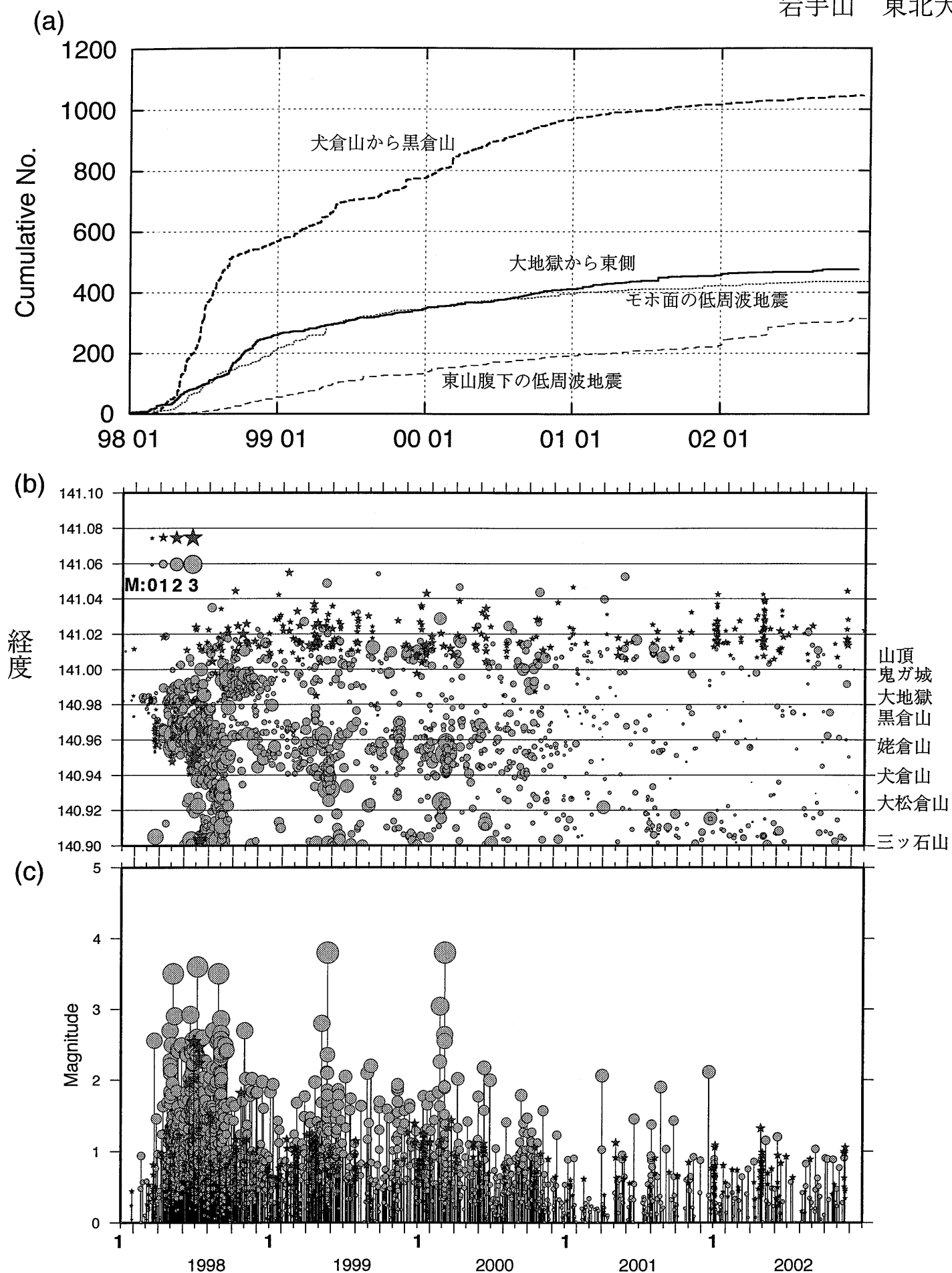


図2. 1998年1月～2002年12月の (a) 地震の積算度数の時間変化 (太い破線：犬倉山から黒倉山, 実線：大地獄から東側, 細い点線：モホ面の低周波地震, 細い破線：東山腹下の低周波地震), (b) 震央を東西に投影した時空間分布図, (c) M-T図. 丸印が高周波地震, 星印が低周波地震.

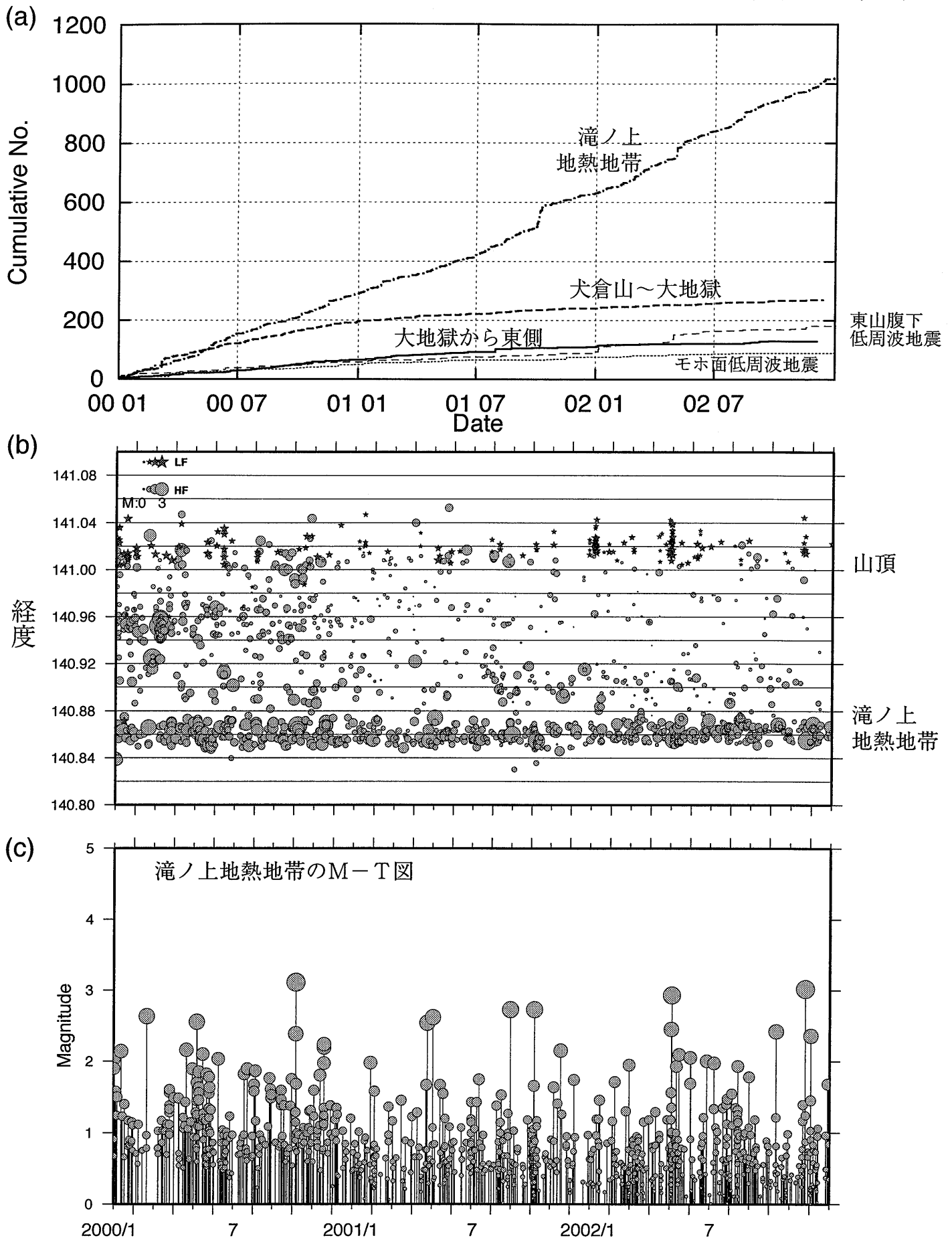
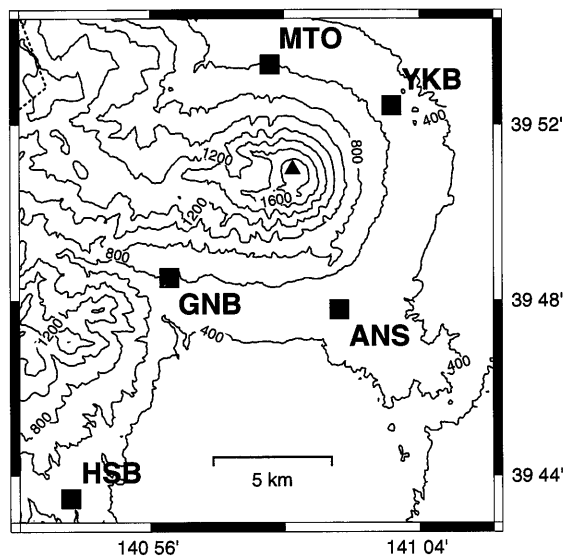
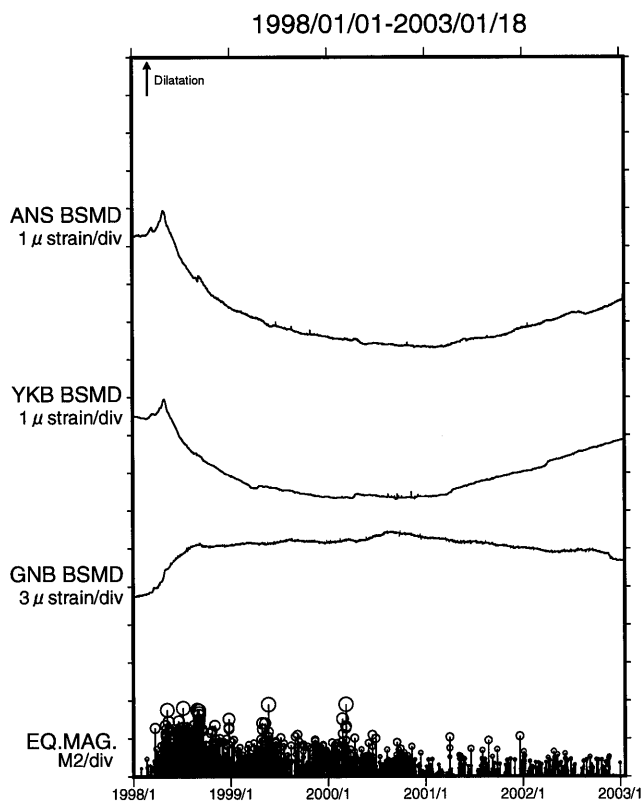


図3. 2000年1月～2002年12月の (a) 地震の積算度数の時間変化 (太い破線：犬倉山から大地獄, 実線：大地獄から東側, 点線：モホ面の低周波地震, 細い破線：東山腹下の低周波地震, 一点鎖線：滝ノ上地熱地帯), (b) 震央を東西に投影した時空間分布図, (c) 滝ノ上地熱地帯に発生した地震のM-T図.

(a)



(b)



(c)

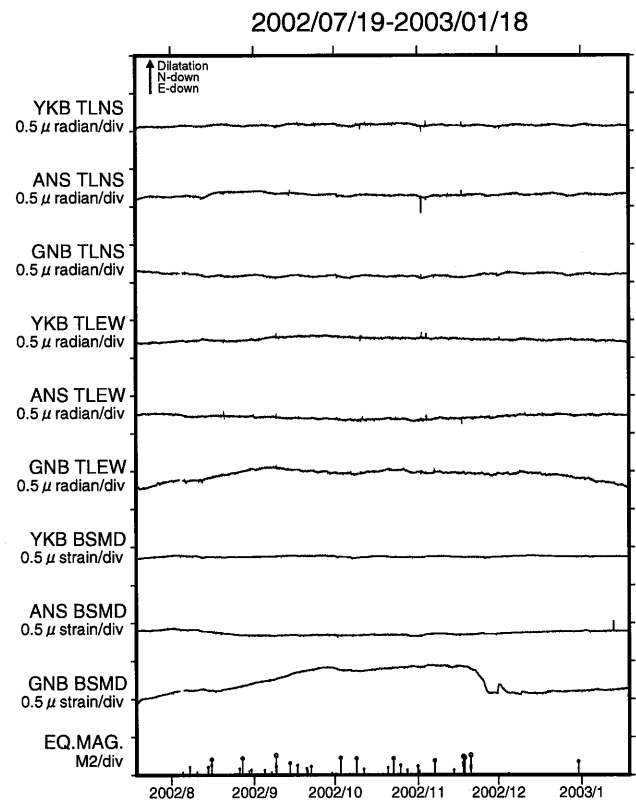


図4. 岩手山周辺の歪計・傾斜計の記録. (a)観測点配置図. (b)1998年1月～2003年1月18日のANS・YKB・GNBの歪変化(潮汐・気圧・降水・温度・トレンド補正済). (c)最近6ヶ月間のANS・YKB・GNBの歪・傾斜変化(潮汐・気圧・降水・1次式トレンド補正済). BSMD:歪変化, TLNS:南北成分, TLEW:東西成分. (b), (c)の図の底部はM-T図.

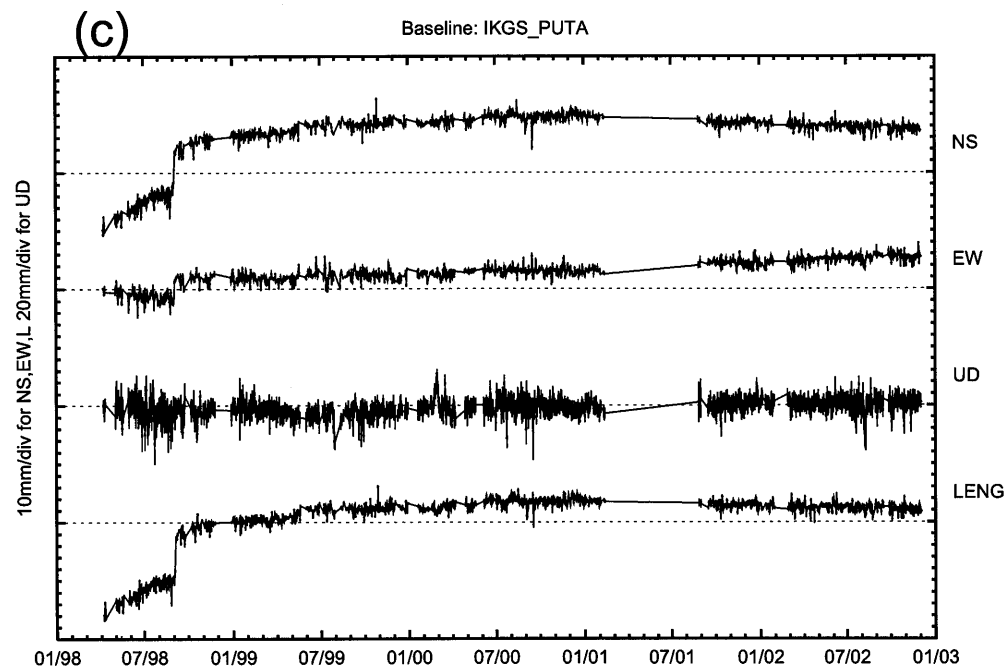
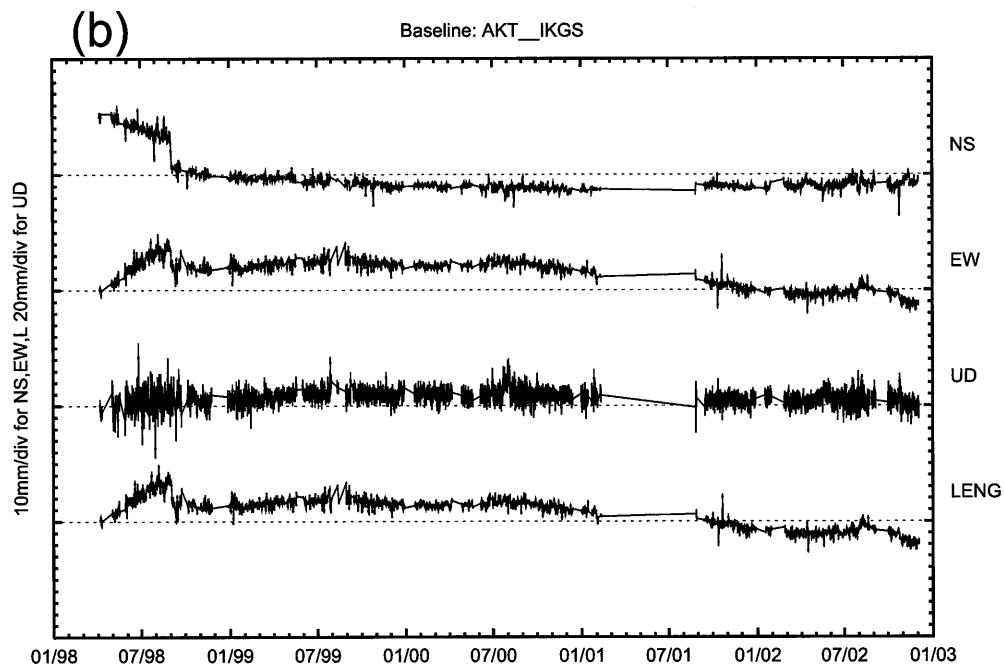
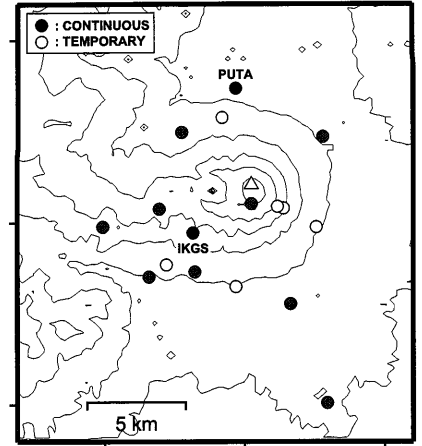
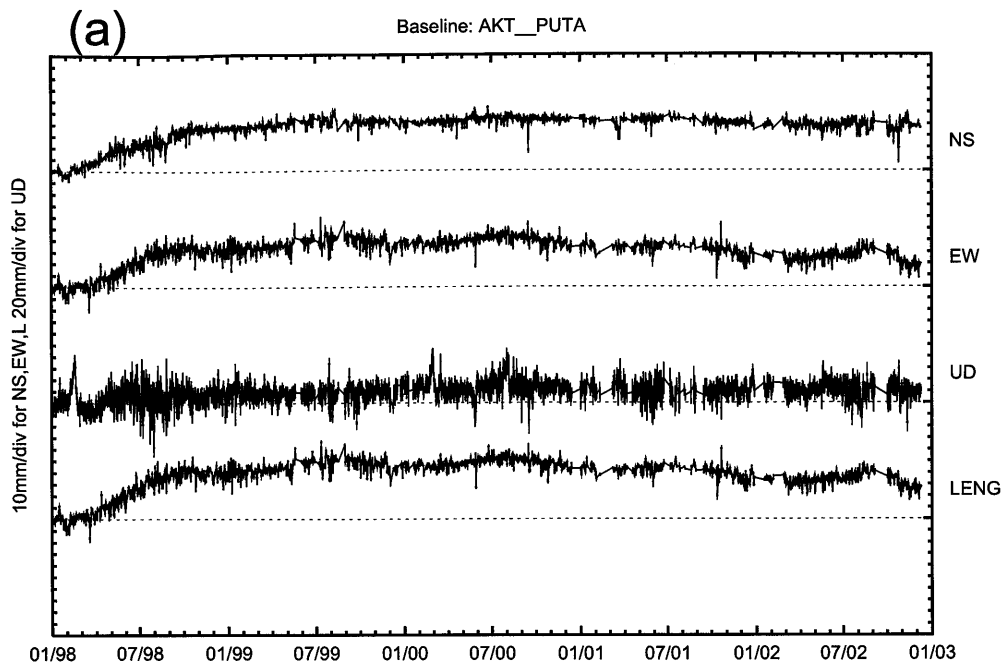


図5 岩手山周辺のGPS観測点の基線ベクトル各成分の時系列。(a)秋田(AKT)ープーターロ村(PUTA)基線,(b)秋田(AKT)ー岩手高原山頂(IKGS)基線,(c)岩手高原山頂(IKGS)ープーターロ村(PUTA)基線。期間は1998年1月～2002年12月。上から南北,東西,標高の各基線ベクトル成分および基線長を示す。

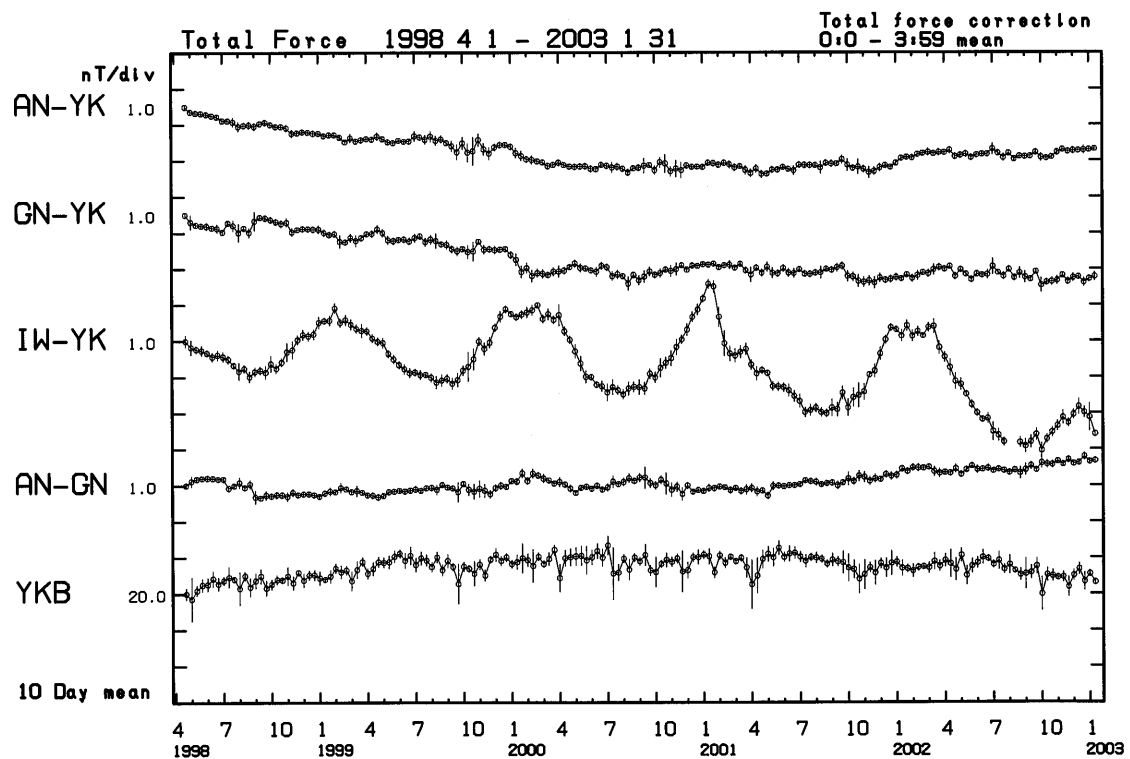
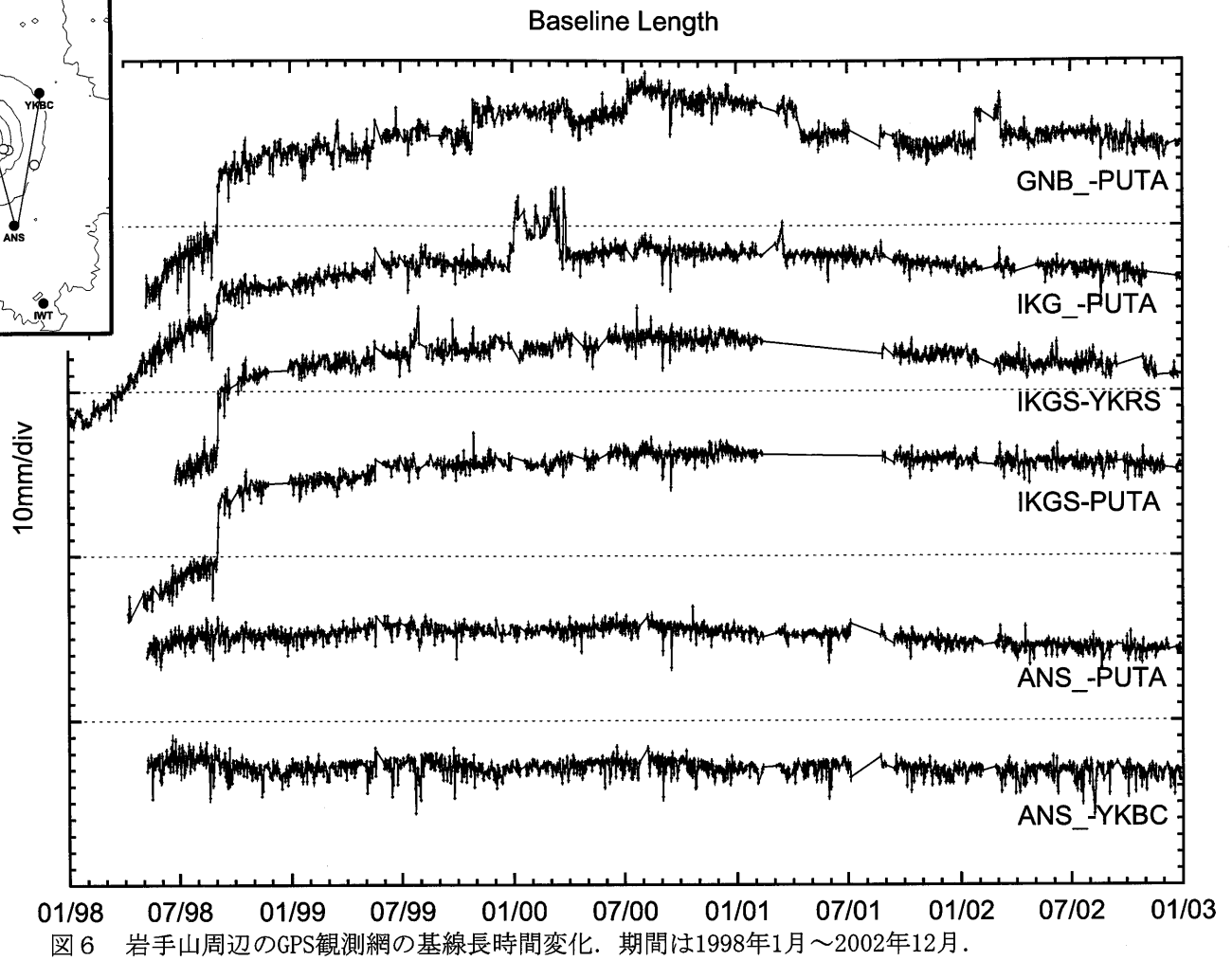
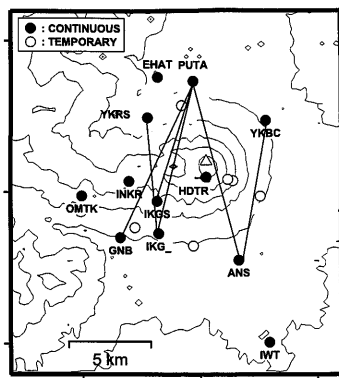


図 7 焼走観測点(YKB)における全磁力夜間平均値(00:00-03:59)(最下段), ならびに, 岩手山周辺における観測点間相互差平均値の時間変化(1998年4月～2003年1月). 焼走観測点の全磁力値を用いて, 外部擾乱の影響を補正. AN: 相ノ沢観測点, YK: 焼走観測点, GN: 玄武洞観測点, IW: 岩手山観測点.